



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 H.U. グループホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4544 URL <https://www.hugp.com/>  
代表者 （役職名）代表執行役会長 兼 社長 兼 グループCEO （氏名）竹内 成和  
問合せ先責任者 （役職名）執行役常務 兼 CFO （氏名）北村 直樹 TEL 03-6279-0926  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	61,395	3.2	870	39.9	△485	—	△1,197	—
2025年3月期第1四半期	59,467	5.0	622	—	641	—	175	—

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 △1,688百万円（—％） 2025年3月期第1四半期 4,429百万円（50.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△21.08	—
2025年3月期第1四半期	3.08	—

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	271,165	132,002	48.6	2,318.83
2025年3月期	279,582	137,295	49.0	2,411.40

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 131,752百万円 2025年3月期 137,011百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	62.00	—	63.00	125.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		62.00	—	63.00	125.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	252,000	3.7	8,000	203.0	6,000	26.5	5,500	99.2	96.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	57,473,822株	2025年3月期	57,473,822株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	655,552株	2025年3月期	655,425株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	56,818,349株	2025年3月期1Q	56,818,864株

(注) 当社は信託型株式報酬制度を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2026年3月期の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法)

当社は、2025年8月8日（金）に機関投資家およびアナリスト向けに決算説明会をテレフォンカンファレンスにて開催する予定です。この説明会で配布する決算補足説明資料については、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(四半期連結貸借対照表に関する注記) .....	9
(四半期連結損益計算書に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(企業結合等関係) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、米国の通商政策等により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、医療機関の経営状況の悪化や医療費の削減要請に伴う検体検査実施料の抑制等、厳しい事業環境が継続しております。

このような環境の中、当社グループといたしましては、これまでの投資の刈り取りフェーズと位置付けた5か年の中期経営計画「H.U. 2030」を策定し、一体化経営のさらなる深化等を通して収益性を向上すべく各種施策に取り組んでおります。H.U. Bioness Complexに関しては、旧システムのシャットダウン対応等にかかるコストが当第1四半期連結累計期間に発生しましたが、完全稼働を開始したことで、今後収益性を改善させる準備が整いました。NEURO領域においては、血漿中の217位リン酸化タウ蛋白（pTau217）とβ-アミロイド1-42の比率を測定する検査試薬が2025年5月にアルツハイマー病の診断補助を目的とした血液用体外診断用医薬品として初めて米国食品医薬局（FDA）より承認を取得し、本試薬を中心としたNEURO領域の製品が成長しております。また、CDMO事業については、6月23日に発表したPlasma Services Group, Inc.の買収も背景に、バイオ原料供給の強化を進めております。

これらの結果といたしまして、当第1四半期連結累計期間の売上高は61,395百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。主な増収要因は検査・関連サービス事業およびヘルスケア関連サービス事業の伸長です。

利益では、増収による増益に加えて、検査・関連サービス事業におけるサービスレベル・販売価格の適正化をはじめとした限界利益の増加等により増益となりました。その結果、営業利益は870百万円（前年同四半期比39.9%増）となりました。営業利益は増益となったものの、営業外費用として為替差損等を計上したことによって、経常損失は485百万円（前年同四半期は経常利益641百万円）となりました。また、特別損失として固定資産除却損等を計上したことによって、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,197百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益175百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### イ. 検査・関連サービス事業

売上では、がんゲノムを始めとした遺伝子関連検査および特殊検査が伸長したこと等により増収となりました。これらの結果、売上高は39,299百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。利益では、ベース事業の増収による増益に加えてサービスレベル・販売価格の適正化をはじめとした限界利益の増加等により営業損失は800百万円（前年同四半期は営業損失1,636百万円）となりました。

#### ロ. 臨床検査薬事業

売上では、海外を中心としてNEURO関連売上が伸長したものの、円高による為替の影響および新型コロナウイルス関連製品の売上高が減少したこと等により減収となりました。これらの結果、売上高は14,103百万円（前年同四半期比2.2%減）となりました。利益では、Plasma Services Group, Inc.の買収費用が発生したこと等により、営業利益は2,309百万円（前年同四半期比21.2%減）となりました。

#### ハ. ヘルスケア関連サービス事業

売上では、滅菌・手術関連事業が伸長したことおよび在宅事業において2024年12月より株式会社ガイアメディケアを連結子会社化したこと等により増収となりました。これらの結果、売上高は7,992百万円（前年同四半期比8.9%増）となりました。利益では、増収による増益により、営業利益は752百万円（前年同四半期比42.8%増）となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8,416百万円減少し、271,165百万円となりました。その主な要因は、ソフトウェアの増加5,512百万円およびのれんの増加2,219百万円があった一方、無形固定資産その他の減少7,424百万円、現金及び預金の減少4,829百万円および流動資産その他の減少3,255百万円があったためであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ3,123百万円減少し、139,163百万円となりました。その主な要因は、賞与引当金の減少3,560百万円があったためであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ5,292百万円減少し、132,002百万円となりました。その主な要因は、配当金の支払3,604百万円および親会社株主に帰属する四半期純損失1,197百万円があったためであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.4%減少し、48.6%となりました。

## (3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4,829百万円減少し、36,054百万円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は524百万円（前年同四半期2,227百万円の獲得）となりました。その主な要因は、減価償却費5,303百万円およびその他の流動負債の増加額2,323百万円があった一方、賞与引当金の減少額3,523百万円、未払消費税等の減少額1,156百万円、売上債権及び契約資産の増加額1,080百万円および税金等調整前四半期純損失953百万円があったためであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は684百万円（前年同四半期6,965百万円の使用）となりました。その主な要因は、子会社株式の取得による支出2,808百万円、無形固定資産の取得による支出868百万円および有形固定資産の取得による支出546百万円があった一方、関係会社出資金の払戻による収入3,738百万円があったためであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は4,652百万円（前年同四半期4,611百万円の使用）となりました。その主な要因は、配当金の支払額3,585百万円およびファイナンス・リース債務の返済による支出1,194百万円があったためであります。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月15日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,885	36,055
受取手形、売掛金及び契約資産	46,619	47,686
商品及び製品	5,580	6,091
仕掛品	8,509	9,128
原材料及び貯蔵品	7,183	7,191
その他	11,228	7,973
貸倒引当金	△863	△942
流動資産合計	119,143	113,184
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	※1 26,246	※1 25,883
機械装置及び運搬具（純額）	※1 7,101	※1 6,916
工具、器具及び備品（純額）	※1 13,977	※1 13,243
土地	9,700	9,678
その他（純額）	16,523	15,909
有形固定資産合計	73,549	71,630
無形固定資産		
のれん	7,682	9,901
顧客関連無形資産	1,724	1,740
ソフトウェア	※1 17,304	※1 22,817
その他	17,571	10,147
無形固定資産合計	44,283	44,607
投資その他の資産		
投資有価証券	1,801	1,232
その他	40,736	40,448
貸倒引当金	△2	△3
投資その他の資産合計	42,534	41,678
固定資産合計	160,367	157,916
繰延資産	70	65
資産合計	279,582	271,165

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,908	19,035
電子記録債務	301	231
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	10,045	10,040
未払金	9,876	11,314
未払法人税等	1,232	678
賞与引当金	6,266	2,705
その他	12,807	12,345
流動負債合計	69,438	66,352
固定負債		
社債	31,100	31,100
長期借入金	19,182	19,172
退職給付に係る負債	6,935	7,043
資産除去債務	1,561	1,565
株式給付引当金	277	363
補償損失引当金	279	487
その他	13,513	13,079
固定負債合計	72,848	72,811
負債合計	142,287	139,163
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,279	9,279
資本剰余金	25,094	25,094
利益剰余金	93,309	88,508
自己株式	△2,258	△2,258
株主資本合計	125,425	120,623
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9	△36
為替換算調整勘定	12,942	12,436
退職給付に係る調整累計額	△1,347	△1,272
その他の包括利益累計額合計	11,586	11,128
新株予約権	102	103
非支配株主持分	180	146
純資産合計	137,295	132,002
負債純資産合計	279,582	271,165

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	59,467	61,395
売上原価	42,782	43,183
売上総利益	16,684	18,211
販売費及び一般管理費	16,062	17,341
営業利益	622	870
営業外収益		
受取利息	110	98
受取配当金	32	31
為替差益	866	—
その他	88	96
営業外収益合計	1,098	226
営業外費用		
支払利息	105	168
持分法による投資損失	519	453
為替差損	—	567
その他	454	392
営業外費用合計	1,079	1,582
経常利益又は経常損失(△)	641	△485
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	65
補償損失引当金戻入額	※1 678	—
その他	—	21
特別利益合計	678	87
特別損失		
固定資産除却損	7	287
補償損失引当金繰入額	—	※2 215
その他	0	52
特別損失合計	8	555
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,311	△953
法人税、住民税及び事業税	1,270	442
法人税等調整額	△134	△164
法人税等合計	1,135	277
四半期純利益又は四半期純損失(△)	175	△1,231
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△33
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	175	△1,197



## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	175	△1,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	910	△27
為替換算調整勘定	3,272	△505
退職給付に係る調整額	70	75
その他の包括利益合計	4,253	△457
四半期包括利益	4,429	△1,688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,429	△1,655
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△33

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,311	△953
減価償却費	4,941	5,303
のれん償却額	117	134
持分法による投資損益(△は益)	519	453
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	1,107	△1,080
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,001	△904
仕入債務の増減額(△は減少)	△793	△15
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,257	△3,523
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,013	△1,156
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,192	△685
その他の流動負債の増減額(△は減少)	43	2,323
その他	△1,164	1,451
小計	2,645	1,345
法人税等の支払額	△510	△772
その他	92	△48
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,227	524
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,476	△546
無形固定資産の取得による支出	△1,369	△868
関係会社出資金の払戻による収入	—	3,738
子会社株式の取得による支出	—	△2,808
子会社株式の条件付取得対価の支払額	△3,005	—
その他	△1,113	△199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,965	△684
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△3,583	△3,585
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,026	△1,194
その他	△0	127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,611	△4,652
現金及び現金同等物に係る換算差額	292	△17
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,056	△4,829
現金及び現金同等物の期首残高	39,946	40,884
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,889	36,054

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※1 国庫補助金等の受入により取得価額から控除している圧縮記帳累計額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
建物及び構築物(純額)	262百万円	262百万円
機械装置及び運搬具(純額)	1,238	1,238
工具、器具及び備品(純額)	196	187
ソフトウェア	29	29
合計	1,726	1,717

2 当社は、緊急時の手元流動性を確保すること等を目的として、主要取引金融機関とコミットメント契約を締結しております。コミットメント契約に係る借入未実行残高等は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
コミットメントラインの総額	20,000百万円	20,000百万円
借入実行残高	—	—
差引額	20,000	20,000

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※1 補償損失引当金戻入額は、当社が2019年3月期に計上した補償損失引当金の一部を戻し入れたことによるものであります。

※2 補償損失引当金繰入額は、既計上済の補償損失引当金にかかる追加計上分であります。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	検査・関 連サービス事 業	臨床検査 薬事業	ヘルスケ ア関連サービ ス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	37,700	14,424	7,341	59,467	—	59,467
セグメント間の内部 売上高又は振替高	53	1,132	4	1,190	△1,190	—
計	37,753	15,557	7,345	60,657	△1,190	59,467
セグメント利益又は損 失(△)	△1,636	2,931	526	1,821	△1,199	622

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,199百万円は、セグメント間取引消去3,981百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△5,180百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	検査・関 連サービス事 業	臨床検査 薬事業	ヘルスケ ア関連サービ ス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	39,299	14,103	7,992	61,395	—	61,395
セグメント間の内部 売上高又は振替高	69	950	41	1,061	△1,061	—
計	39,369	15,053	8,034	62,456	△1,061	61,395
セグメント利益又は損 失(△)	△800	2,309	752	2,261	△1,391	870

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,391百万円は、セグメント間取引消去3,495百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△4,886百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「臨床検査薬事業」のセグメントにおいて、Plasma Services Group, Inc.を連結子会社としたことにより、のれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては2,313百万円であります。

なお、のれんの金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

## 1. 企業結合の概要

被取得企業の名称及びその事業の内容	Plasma Services Group, Inc. 体外診断薬のバイオ原料供給事業
企業結合を行った主な理由	CDMO機能の拡大および強化
企業結合日	2025年6月20日
企業結合の法的形式	現金を対価とする株式の取得
結合後企業の名称	結合後企業の名称に変更はありません。
取得した議決権比率	取得した議決権比率 100.0%
取得企業を決定するに至った根拠	現金を対価として株式を取得したことによるものです。

## 2. 第1四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年6月21日から2025年6月30日まで

## 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

現金	2,915百万円
取得原価	2,915百万円

## 4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## (1) 発生したのれんの金額

2,313百万円

なお、上記の金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

## (2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

## (3) 償却方法及び償却期間

効果が発現すると見積もられる期間で均等償却します。